河内長野市公共施設個別施設計画 【学校給食施設】(案)



令和 年 月 河内長野市

I.背景と目的	1
(1)個別施設計画策定の背景と目的	1
(2)個別施設計画の位置づけ	
(3)計画の期間	
(4)対象施設【学校給食施設】	
2. 施設の現状	6
(1)個別施設の現状 (施設加テから、施設の概要、運営状況その他)	
3. 施設整備の方針	9
(1)今後の施設維持管理取組み方針	
(2)計画を進める上での利用者等への説明や意向把握について	
(3)対策の優先順位の考え方(同分類施設及び単一施設での優先順位)	9
(4)今後の施設維持管理の具体的な取組み内容	10
4. 実施に向けて	11
(I)課題と解消への取組み	11
(2)今後の施設改修計画	12
(3)推進の体制	15
(4)フォローアップ	15
参考資料	16

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GEALS

河内長野市では、平成 27 (2015) 年に国連サミットにおいて採択された SDGs (Sustainable Development Goals持続可能な開発目標)「誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会」の実現をめざし、経済、社会、環境をめぐる幅広い分野の課題に対して総合的に取り組むこととしています。

本計画は、SDGs の 17 の目標のうち、次の目標の達成に向けた取り組みを推進するものです。



目標 11【住み続けられるまちづくりを】 包括的で安全かつ強靭(レジリエン ト)で持続可能な都市及び人間居住を 実現する

1. 背景と目的

(1)個別施設計画策定の背景と目的

本市では、昭和 29 年の市制以来、人口の増加とともに福祉、市民生活の向上や社会経済活動を 支えるため、公共建築物を初め、多くの公共施設等を建設し、その役割を果たしてきました。

しかしながら、こうした公共施設等は経年により老朽化が進み、今後、経年劣化に対応するために 多大な費用を要することが予想されます。

また、一方では、人口減少などにより、税収が減少する中で、少子高齢化による社会保障関係費等が増加するなど、大きな負担となってきています。

このようなことから、過去から建設してきたすべての公共施設等を今後も維持していくために必要な維持保全・更新費を確保することが困難な状況となっています。

こうした公共施設等の維持・更新問題に対応していくため、平成 26 年 4 月に「公共施設の維持保全・有効活用方針」を、平成 27 年 9 月には「公共施設等総合管理計画」を策定しました。さらに令和元年 5 月には比較的大きな公共建築物を対象に「公共施設再配置計画」を策定し、公共施設マネジメントへの取り組みという具体的な方針を示してきました。

今回策定する個別施設計画は、これらの計画の方針を踏まえながら、公共施設等のうち、公共建築物を対象に施設の機能や用途などで分類した上で、個々の施設について、今後の公共建築物の長寿命化等への取り組みを示しています。

また、今後必要となる維持保全・更新のための必要経費の縮減と平準化と併せて、有効活用による新たな財源(歳入)の確保や施設の複合化、集約化等により総量縮減を図りながら、持続可能で新たなニーズに対応した安全・安心な公共施設づくりに取り組み、公共施設等の維持・更新問題に対応して行くために策定するものです。

【公共施設マネジメントのイメージ図】

目 標

- ●持続可能で新たなニーズに対応した公共施設づくり
- ●持続可能な財源構造の確保

取組みの3つの柱

●公共施設等の最小化、最適化

- ⇒総量削減、適正配置、長寿命化
- ・公共施設の維持保全・有効活用方針(平成 26 年 4 月)
- ·公共施設等総合管理計画(平成27年9月)
- ·公共施設等の維持保全·有効活用計画
- · 公共施設再配置計画
- · 公共施設個別施設計画

●保有資産の有効活用の実施

- · 資産の有効活用基本方針(平成27年9月)
- ⇒未利用財産の売却、貸付け
- ⇒無償貸付の有償化、使用許可から貸付けへの移行
- ⇒新たな財源の確保と投資
- ⇒担当課での意識改革と取組み

●施設の適切な維持管理の実施

- ⇒公共建築物維持管理マニュアル作成と研修
- ・職員による適切な維持管理
- ・光熱水費の削減、長寿命化

●事後保全から予防保全へ移行

- ⇒施設管理の一元化と共有化
- ・毎年度修繕費などの平準化、削減

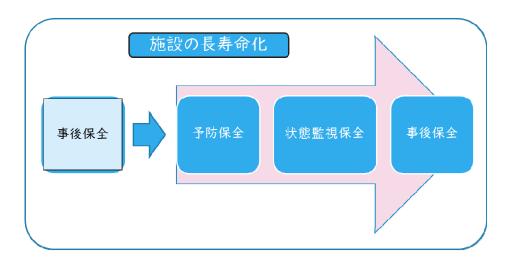
※公共施設マネジメント

公共建築物の必要性を検討し、必要性があると判断される場合は、現状を維持、又は他施設への 複合化や集約を更新などの機会を捉えながら、質的な向上や現在求められる機能への変更や用途 変更を図り、必要性がない、若しくは低いとされたものについては、維持しているだけでも管理費が必 要なことを念頭に廃止(民間への売却を含みます)や撤去を検討していきます。

公共施設等に関する保全のための情報をデータ化し、データの活用、継続性、統一性、効果性を 高めて行き、情報を一元的に管理し、年度により大きく変動する公共施設等の改修や更新に要する 費用を施設の選択と集中、かつ優先順位を定め、各年度の予算の平準化に努め、将来の施設の維 持・更新に活用するほか、社会経済情勢の変化に的確に対応できるよう、適宜計画を見直し、PDCA サイクルを循環していきます。

また、併せて、新たな財源の確保として、既存の事業内容も含め、公共施設マネジメントの取組みとしては、条例や規則、組織、所管を壁として考えずに取り組み、使用料負担の適正化、管理運営の効率化、新たな財源の確保、民間の技術や資金活用、民営化(運営)や公民連携等、様々な取組みを相互に関連付けながら、取組みを進めます。

【施設の長寿命化のイメージ図】



※施設の長寿命化

これまでの公共施設等の維持管理・修繕は、施設に不具合が生じてから、対応する「事後保全」が大部分でした。しかしながら、施設が使用できなくなるほかに突発的な予算措置が必要になり、予定にない財政負担が生じていました。

また、施設使用に直接的な影響がないような場合は、翌年度以降での対応となり、この期間に不具合が周辺部に進むなど、結果的には適切な維持管理を行った場合と比較し、多くの費用が必要になったり、改修に係る時間が長くなり、利用制限をせざるを得ない状況になることもありました。

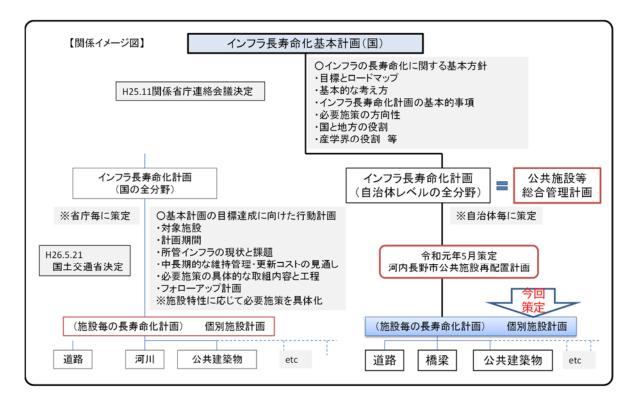
こうした「事後保全」は、建物の寿命を短くすることにもつながります。

このことに対応するため、定期的に取換えや交換・更新を行う「予防保全」や点検によりその劣化や状態を見ながら修繕更新を行う「状態監視保全」を目指し、維持管理体制の整備を行い、施設の点検等における各施設の状態を把握し、これまでの「事後保全」のみの維持管理から、点検・診断実施結果などから各施設の対応方法を個々の施設の状況に応じて「予防保全」と「状態監視保全」と「事後保全」の3つに分類し、財政的、物理的な条件を加味し、計画的な維持管理により、各施設の長寿命化とともに、特定の年度に改修や更新時期が集中しないように調整し、各年度の財政的な負担の平準化を目指します。

(2)個別施設計画の位置づけ

国がインフラの戦略的な維持管理・更新等を推進するため、平成 25 年 I I 月に策定した「インフラ 長寿命化基本計画」と総務省が、この計画に基づき地方公共団体に対し、平成 28 年までの策定の 要請により、市で策定した河内長野市「公共施設等総合管理計画」などに基づく個別施設計画とし、 位置付けます。

(関係イメージ図)



(3)計画の期間

第 5 次総合計画に合わせた令和 7 年までの 5 年間を基本に令和 12 年度までの 10 年間を視野に入れた検討を行いながら、計画を策定します。

ただし、施設の状態や市民ニーズ、関連する公共施設マネジメントの取組み状況、財政状況、社会経済情勢、国の補助制度の動向により適時、見直しを実施します。

(4)対象施設【学校給食施設】

本計画の対象施設は、学校給食センターの施設を対象としています。

公共施設全体分類表

十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	다스*¤	ハント***	施設名称
大分類	中分類	小分類	(※これまで策定してきました計画などとの整合性を図るため、ネーミングライツ実施の施設についても、これまでの名称で表記しています。)
		市域文化系施設	市民交流センター(キックス) 文化会館(ラブリーホール) 市民公益活動支援センター(るーぶらざ) 三日市市民ホール【フォレスト三日市】 河内長野駅前市民センター(ノバティホール)【ノバティながの南館】
	市民の活動 や学習施設	地域文化系施設	小山田コミュニティセンター(あやたホール) 清見台コミュニティセンター(くすのかホール) 日野コミュニティセンター(みのでホール) 滝畑コミュニティセンター 美加の台コミュニティルーム 西谷集会所 高瀬集会所 中尾集会所 下里集会所 喜多町集会所 三日市集会所
		社会教育系施設	滝畑ふるさと文化財の森センター(資料館) 滝畑ふるさと文化財の森センター(研修宿泊施設) ふるさと歴史学習館 図書館 川上公民館 加賀田公民館 高向公民館 千代田公民館 三日市公民館 天見公民館 天野公民館 南花台公民館
	スポーツ・公 園施設	スポーツ施設	市民総合体育館 大師総合運動場 大師庭球場 荘園庭球場 下里総合運動場 赤峰市民広場 天野少年球技場 下里運動公園人工芝球技場 寺ケ池公園(野球場 庭球場 プール) 武道館
	anenx	公園施設等	寺ケ池公園管理事務所 滝畑(ダム周辺)公衆トイレ 公園トイレ 烏帽子形八幡神社前休憩所
市民利用施設	福祉施設	福祉施設	福祉センター(錦渓苑・錦渓苑別館) 小山田地域福祉センター(あやたホール) 清見台地域福祉センター(くすのかホール)
		高齢福祉施設	シルバー人材センター
		障がい者支援施設	障がい者福祉センター(あかみね、あかみね分館) 小学校 中学校
	子ども向け施設	学校施設等	か子校 中子校 子ども教育支援センター 旧滝畑教職員住宅 適応指導教室 旧自動車文庫基地
		学校給食施設	学校給食センター
		児童施設•児童福祉 施設	千代田台こども園 子ども・子育て総合センター(あいっく)【ノバティながの北館】 三日市幼稚園 放課後児童会施設等
	保健・衛生の 向上を図る	保健施設	休日急病診療所 保健センター 乳幼児健診センター【フォレスト三日市】 (仮称)新保健センター
	内上を図る 施設	火葬施設	市営斎場
	neax	衛生施設	衛生処理場。資源選別作業所
	産業、観光の 振興を図る 施設	産業・観光振興施設	旧滝畑レイクパーク 林業総合センター(木根館) 河内長野荘 地域活性・交流拠点施設(道の駅 奥河内くろまろの郷) 日野バス停公衆便所 神納バス停公衆便所 テクルートトイレ(観心寺) テクルートトイレ(金剛寺) 滝畑公衆便所(湖畔観光事務所横) 旧三日市交番 光滝寺キャンプ場 滝畑観光農林漁業経営施設 観光案内所
		市営住宅施設	市営桜ヶ丘住宅 市営栄町住宅 市営昭栄住宅 市営三日市西住宅
都市基盤施設	都市基盤施設	道路施設	原町放置自転車等保管所 河内長野駅前公衆便所 三日市町駅前公衆便所 河内長野駅前エレベーター棟 三日市町駅前エレベーター棟
		庁舎等施設	市庁舎 消費生活センター【ノバティながの南館】
行政施設	庁舎等	その他施設	児童療育支援プラザ 旧三日市窓口センター【フォレスト三日市】 旧三日市情報コーナー【フォレスト三日市】 健康支援センター【フォレスト三日市】 河内長野駅前交番 滝畑ふるさと文化財の森センター(茅倉庫) 文化財調査作業所 旧教育委員会庁舎 旧倉庫(天野) 倉庫(川上地区山村広場) 旧し尿処理場(長野南・南青葉台・北青葉台・美加の台) 旧長野窓口センター【ノバティながの南館】 旧北三日市屯所 旧消防団松ヶ丘班仮車庫
		消防施設	消防本部・消防署 消防署北出張所 消防署南出張所 消防団屯所 書庫

2. 施設の現状

(1)個別施設の現状 (施設加テから、施設の概要、運営状況その他)

①対象施設の概要

【学校給食センター】

対象施設の概要	(当該施設が複数	の建物で構成して	いる場合は、※ <i>0</i>)項目は、代表棟に	に関する情報を示	しています。)		
施設ID	112		施設名	学校給食センター				
所在地	小山田町3	79番地の3	小分類	学校給食施設				
用途地域	第1種中高層	住居専用地域						
所管課	教育技	旨導課	市立学校において実施する学校給食の円滑かつ効率的な運		F滑かつ効率的な運営を図るため、地方			
大分類	市民利用型施設		設置目的					
中分類	子ども向け施設							
※ 建設年	1984	\$59						
土地所有	河内县	長野市						
敷地面積 mi	5, 17	5.32	保有諸室 事務室1、調理室1、会議室1		保有諸室 事務室1、調理室1、会議室1			
※ 構造	R	C						
※ 階数		3						
建築面積 mi	2, 18	2.45	駐車台数	4	※ 構造計算	新耐震		
延床面積 mi	2,66	9.66	避難所指定	なし	※ 耐震診断	_		
			運営形態	直営	※ 補強必要	-		
					※ 耐震補強	_		

②施設設置状況(施設構成)

【学校給食センター】

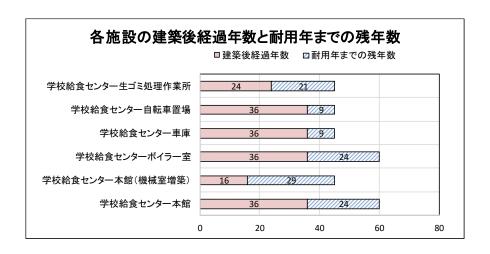
施設構成							
施設固有 D	建物名称	建築年度	経過年	構造	階数	延床面積 쉾)	
112-1	学校給食センター	本館	1984	36	RC	3	2350.49
112-2	学校給食センター	本館 機械室増築)	2004	16	S	1	74.61
112-3	学校給食センター	ボイラー室	1984	36	RC	1	45.4
112-4	学校給食センター	車庫	1984	36	S	1	72
112-5	学校給食センター	自転車置場	1984	36	S	1	40.8
112-6	学校給食センター	生ゴシ処理作業所	1996	24	S	1	86.36

③施設設置状況(過去の整備改修状況)

【学校給食センター】

過去の整備改修		学校給食センター	単位:円
年度	工事名称 小規模工事は除く	工事概要	請負金額
1983	市立給食センター建設工事	建設工事 RC2F(一部S平屋) a=2096.082㎡ A=2467.898㎡屋外工事	613,000,000
		給水設備(含、仮設給水設備工事)排気通気設備	50,000,000
1993	市立学校給食センターボイラー入替工事		19,776,000
1994	市立学校給食センター屋根他改修工事		18,849,000
1995	市立給食センター改修工事		24, 514, 000
2004	給食センター施設改善工事	既設間仕切り・建具・スラブ等解体撤去工事内外装保全改修工事	432,075,000
2004	給食センター給排水設備改善工事	既設給排水管類撤去工事給排水衛生設備工事	79,821,000
		合計	1, 238, 035, 000

耐用年数から見た経過年と残年数グラフ



⑤劣化度調査結果(調査点数)

	施設名称	100-劣化度調査点
学校給食センター		89.42

⑥施設の運営状況

【学校給食センター】

施設運営状況				学校給食	センター			
歳出 光熱水費)	H 24-2012	H 25-2013	H 26-2014	H 27-2015	H 28-2016	H 29-2017	H30-2018	H31-R1-2019
電気料金 年)								
上下水道料金(年)								
ガス料金								
電気+上下水+ガス	36,879,923	37,472,872	34,795,490	35,036,056	32,017,852	32,150,380	32,446,602	34,486,482
小計1	36,879,923	37,472,872	34,795,490	35,036,056	32,017,852	32,150,380	32,446,602	34,486,482
共益費	-	=	=	-	-	=	=	=
工事費	2,837,000	4,956,019	4,179,732	4,223,406	3,646,523	4,404,652	5,079,051	5,291,746
借地料	-	-	-	-	-	=	=	
運営人件費	22,948,100	22,948,100	22,948,100	22,555,502	22,565,502	22,479,770	22,540,280	21,136,885
管理業務委託費	5,292,704	5,152,629	5,376,426	5,481,242	5,574,042	5,493,474	5,468,100	5,418,681
小計2	31,077,804	33,056,748	32,504,258	32,260,150	31,786,067	32,377,896	33,087,431	31,847,312
合計(小計1+小計2)	67,957,727	70,529,620	67,299,748	67,296,206	63,803,919	64,528,276	65,534,033	66,333,794
歳入 利用料等)	H 24-2012	H 25-2013	H 26-2014	H 27-2015	H 28-2016	H 29-2017	H30-2018	H31-R1-2019
利用料収入	_	-	_	_	-	1	1	
貸付料	_	-	_	_	-	-	-	
合計								
収支 歳入-歳出)	-67,957,727	-70,529,620	-67,299,748	-67,296,206	-63,803,919	-64,528,276	-65,534,033	-66,333,794
指定管理料	_	-	_	-	-	1	1	
施設の利用状況								
年度	H 24-2012	H 25-2013	H 26-2014	H 27-2015	H 28-2016	H 29-2017	H30-2018	H31-R1-2019
利用者数 (人)	1,096,979	1,073,220	1,014,483	974,183	948,360	944,963	948,516	861,673

3. 施設整備の方針

(1)今後の施設維持管理取組み方針

【学校給食センター】

- ・建設後35年以上を経過し、経年劣化している部分がありますが、早急に大規模な改修を行う必要はないため、今後も継続して適切な維持管理に取り組み、毎年の維持費の削減に努めます。
- ・今後 10 年間に必要な改修更新費用は、平均を下回ると推計していますが、厨房機器の更新を考慮すると上回ることが予想されることから、更新の時期や費用について、検討を行います。
- ・学校給食法では、学校の設置者が給食センターの設置者とされており、市が設置者である以上は 運営に関与する必要があります。調理、配送等は民間に業務委託していますが、施設の維持管理に 関しては、民間に任せることは法的には可能と思われるものの、当面は市が主体となって運営します。

(2)計画を進める上での利用者等への説明や意向把握について

【学校給食センター】

- ・老朽改修や調理機器の更新の際には、小中学校への広報に努めます。
- ・学校給食以外への活用を検討していく場合は、その必要性などについて理解を求めるため、説明を 行い、手順や内容などについても広く説明していきます。

(3)対策の優先順位の考え方(同分類施設及び単一施設での優先順位)

【学校給食センター】

・施設の厨房機器や蒸気ボイラーが更新時期を迎え、また、施設も経年劣化が激しいため、修繕が必要なものが出てきていますが、運営に係る重要度を検討し、優先順位をつけ、毎年の必要予算に 突出したものが無いように平準化を図り、対応していきます。

(4)今後の施設維持管理の具体的な取組み内容

①具体的な取り組み内容

【学校給食センター】

- ・施設の適切な維持管理の実施により、現状を維持します。
- ・今後も維持していく場合は、多大な改修更新費を費やすこととなるため、施設を有効に活用する方法を検討する必要があります。併せて、少子化の影響から、センターの配膳可能数を下回る配膳量となるため、その能力を他に活用できないか、他市の取り組みを参考に令和7年度までに具体的にどのような活用方法があるか検討していきます。
- ②長寿命化への取組み、施設の有効活用、施設利用の適正化、有料化への取組み や施設の廃止、複合化について

【学校給食センター】

・施設管理に関し、複数年契約のほか包括管理による経費の削減が可能かなどについて検討します。

4. 実施に向けて

(1)課題と解消への取組み

【学校給食センター】

【課題】

・厨房機器の更新や施設の修繕に今後多額の費用が必要と考えられ、計画を進める上で、この費用の捻出が大きな課題です。

【課題解消への取組】

・厨房機器の更新や修繕を計画的に実施し、多大な費用を要する場合は、複数年度に分散するなど毎年の予算の平準化を図ります。

(2)今後の施設改修計画

今後の施設改修は、公共施設マネジメントへの取り組みとこれまで記述してきました具体的な取り組みや課題解消への取り組みなどにより、施設の長寿命化、財政負担の軽減と平準化を図りながら、安全・安心な公共施設づくりをめざします。

◎維持保全・更新費の推計

今後の公共施設の維持保全・更新費の推計は、建物の建設年を起点として、屋根や外壁、設備などの各部位ごとの耐用年数から導き出した維持保全・更新費を基に、建物の長寿命化に優先的に取り組むために各部位ごとに予防保全や状態監視保全などの分類を適正に行った上で、改修時期や維持保全・更新費を推計します。

◎維持保全・更新工事の実施時期と費用について

実際の維持保全・更新については、維持保全・更新の推計により導き出した維持保全・更新工事が必要な年度の前に当該建物の定期点検結果や現地確認により、維持保全・更新工事の実施時期及び内容について、精査し、取り組んでいきます。

①長寿命化への取組みによる維持更新費の平準化と推計

【学校給食センター】

◎長寿命化への取組み

- ・鉄筋コンクリート造と鉄骨造の耐用年数を、屋根及び外壁などの躯体に影響する部位は予防保全 (更新)を実施する事を前提に長寿命化を図り、それぞれ80年と50年へと見直しを行います。
- ・内外装及び設備工事など、全ての部位について、予防保全を実施することは困難であるため、空調設備や電気設備などは、定期的に実施している点検結果に基づき、状態監視を行い優先順位を考慮した上で、必要に応じて改修や修繕を実施します。
- ・機械室や車庫などの付属施設については、全般的に状態監視保全とし、必要に応じて修繕等を実施します。

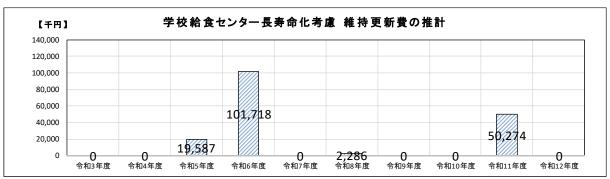
◎上記を考慮した今後5年間での維持更新費の推計



今後の改修時期と維持リ	更新養推計(長寿命(と考慮)		学校給食センター			
棟名称	更新・改修	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	単位:円
保石你	更新・以修	2021	2022	2023	2024	2025	維持保全時期と内容
	建物更新						
	部位別更新				97, 735, 000		設備等の耐用年数から取替え検討が必要です。
本館	建物全体改修						
	部位別改修				3,466,000		設備等の耐用年数から改修の検討が必要です。
	臨時的改修						
	建物更新						
	部位別更新						
本館(機械室増築)	建物全体改修						
	部位別改修				54,000		設備等の耐用年数から改修の検討が必要です。
	臨時的改修						
	建物更新						
	部位別更新				429,500		設備等の耐用年数から取替え検討が必要です。
ボイラー室	建物全体改修						
	部位別改修				33,000		設備等の耐用年数から改修の検討が必要です。
	臨時的改修						
	建物更新						
	部位別更新						
車庫	建物全体改修						
	部位別改修						
	臨時的改修						
	建物更新						
	部位別更新						
自転車置場	建物全体改修						
	部位別改修						
	臨時的改修						
	建物更新						
	部位別更新						
生ゴミ処理作業所	建物全体改修			19,587,000			建物の耐用年数から、建物全体改修の検討が必要です
	部位別改修						
	臨時的改修						

※今後の5年間では、約1億2100万円が必要と推計しています。

◎令和3年度から | 2年度までの | 0年間



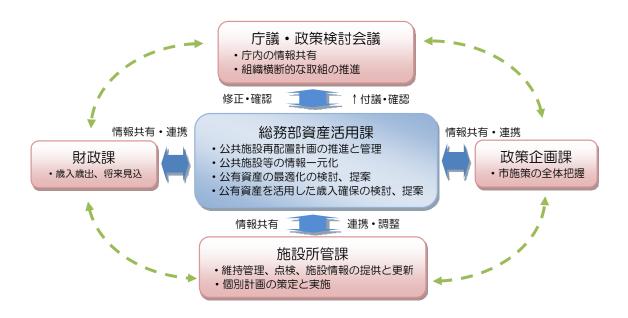
※今後10年間では、約1億7400万円が必要と推計しています。

(3)推進の体制

本計画の実施は、各施設を所管する担当課が中心となり、公共施設マネジメントの考え方をもって取り組んでいきます。併せて、実施前段階から、必要に応じて政策検討会議や庁議などに諮り、全庁的な理解のもとで実施していきます。

また、適切維持管理を行う上で、これまでは個々の施設で実施してきました施設維持管理業務委託を統一的な管理とする包括的施設管理業務委託への移行により、各種情報の一元化と施設所管課との共有を図り、安全・安心な施設の維持に努めます。

【推進体制のイメージ図】



(4)フォローアップ

本計画は、上位計画である第5次総合計画、公共施設等総合管理計画、再配置計画などと整合 を図るため、これらの計画の見直しにより、修正すべき内容は適時見直していきます。

また、公共建築物だけでなくインフラ施設の今後の状況変化や財政状況など周辺条件の変化に合わせた対応も必要であり、適時に見直しを行い、適切な公共施設などの維持保全・更新に継続的に取り組み、持続可能で新たなニーズにも対応した公共建築物づくりに努めます。

併せて、計画に位置付けられた事業は、公共施設全体を視野に入れ、優先すべきものを確認しながら予算配分を行い、取り組んでいきます。

参考資料

【施設カルテ】

施設カルテ(建築物)

対象施設の概要	(当該施設が複数	(の建物で増成)	ている場合は	※の項目は、代表	棟に関する情報を	示しています)			
施設ID	112	COREID CHARGO	施設名	学校給食センター		.A.O.C. & 9.8	,			
		0 0		Inches A Island						
所在地 用途地域	小山田町37 第1種中高層信		小分類	学校給食施設						
所管課	教育指			十七巻林によいいて	実施する学校給食の	円温みへがおかま	軍学を回する			
大分類	市民利用		設置目的	の 地方教育行政						
中分類	子ども向	け施設		30条の規定に基づ	き設置する。					
※ 建設年	1984	S59								
土地所有	河内長 5,175									
敷地面積 ㎡ ※ 構造	5, 175 RC		保有諸室	事務室1、調理室1、	、会議室1					
※ 階数	3									
建築面積 mi	2, 182	. 45	駐車台数	4	※ 構造計算	新西	対震			
延床面積 mi	2,669	1.66	避難所指定	なし	※ 耐震診断	-				
			運営形態	直営	※ 補強必要	-				
施設評価					※ 耐震補強 学校給食・	ランター	-			
評価年	1次評価	健全原	ま評価	1	活用度			財務調	平価	1
		健全原		活用度評価	(利用者数はH24か		財務評価(円) (L	CC評価以外はH24からの各名		5までの必要維持更新費
2020	項目	築年数(残年)	劣化度 (点)	優先度	稼働率 (%)	利用者数(年間利用者数)	利用者負担(利用料/利用者数)	市民負担(歳出計(円)/人口)	㎡市民負担(歳出計(円)/人口/延床	m LCC評価(円/㎡
	点数	*****	89.42	50	*****	982, 797	*****	**************************************	*****	30, 222, 58
施設評価	偏差値	*****	*****	*okskolek	******	*****	-	-	*ololololok	*****
		建物評価		1	総合記	半価	機能評価			
設運営状況		建物評価		学校給食	センター		/成月E 計→1川			
出(光熱水費)	H24-2012	H25-2013	H26-2014	H27-2015	H28-2016	H29-2017	H30-2018	H31-R1-2019	R2-2020	R3-2021
気料金 (年)										
下水道料金(年)										
ブス料金										
を与したです。 ごっ	20 050 000	07 470 070	04 505 (00	05 000 050	20 015 050	00 150 000	20 140 000	24 402 402		1
■気+上下水+ガス 小計1	36, 879, 923 36, 879, 923	37, 472, 872 37, 472, 872	34, 795, 490 34, 795, 490	35, 036, 056 35, 036, 056	32, 017, 852 32, 017, 852	32, 150, 380 32, 150, 380	32, 446, 602 32, 446, 602	34, 486, 482 34, 486, 482		
小計1	30, 019, 923	31,414,014	34, 193, 490	33, 030, 030	32,011,032	J4, 130, 380 -	52,440,002	J4, 400, 402 -		
事費	2,837,000	4, 956, 019	4, 179, 732	4, 223, 406	3,646,523	4, 404, 652	5,079,051	5, 291, 746		1
	-	-	_	_	_	-	_			
営人件費	22, 948, 100	22, 948, 100	22, 948, 100	22, 555, 502	22,565,502	22, 479, 770	22, 540, 280	21, 136, 885		
管理業務委託費	5, 292, 704	5, 152, 629	5, 376, 426	5, 481, 242	5, 574, 042	5, 493, 474	5, 468, 100	5, 418, 681		
小計2	31, 077, 804	33, 056, 748	32, 504, 258	32, 260, 150	31,786,067	32, 377, 896	33, 087, 431	31, 847, 312		
計(小計1+小計2)	67, 957, 727	70, 529, 620	67, 299, 748	67, 296, 206	63, 803, 919	64, 528, 276	65, 534, 033	66, 333, 794		
入(利用料等)	H24-2012	H25-2013	H26-2014	H27-2015	H28-2016	H29-2017	H30-2018	H31-R1-2019	R2-2020	R3-2021
川用料収入	-	-		-	_	-				
資付料	-	_	_	-	-	-	-			
A ML										
合計 収支(歳入-歳出)	-67, 957, 727	-70, 529, 620	-67, 299, 748	-67, 296, 206	-63, 803, 919	-64, 528, 276	-65, 534, 033	-66, 333, 794		
f定管理料	-	-	01, 200, 140	-	-		-	00,000,104		
態数の利用状況	W04 0010	W05 0010	W00 0014	W05 0015	H00 0010	W00 0017	W00 0010	H01 D1 0010	DO 0000	D0 0001
F度 引用者数(人)	1,096,979	1, 073, 220	1,014,483	H27-2015 974, 183	948, 360	H29-2017 944, 963	H30-2018 948,516	861, 673	R2-2020	R3-2021
加伯奴(八)	1,030,373	1,073,220	1,014,400	374, 103	540, 500	544, 505	340, 310	001, 073		
超段構成										_
施設固有ID			建物名称			建築年度	経過年	構造	階数	延床面積 (㎡)
				T						(111)
	يم	学校給食センター		本:	館	1984	36	RC	3	2350.49
112-1	7			1					1	74.01
		44.40.A.L.		- Dit / 10th 1	4.44.44.V	2004	1.0	c	1	74.61
112-1 112-2		学校給食センター		本館(機柄	戒室増築)	2004	16	S		
112-2	<u>بر</u> ٦							-		
	<u>بر</u> ٦	学校給食センター 学校給食センター		本館(機械ポイラ		2004 1984	16 36	S RC	1	45.4
112-2	실 건 실				ラー室			-		
112-2 112-3 112-4	યા યા યા	学校給食センター		ボイラ車	戸一室庫	1984 1984	36 36	RC S	1	45.4 72
112-2 112-3	યા યા યા	学校給食センター		ボイラ	戸一室庫	1984	36	RC	1	45.4
112-2 112-3 112-4 112-5	원 ¹ 원 ¹ 원 ¹ 원 ¹	学校給食センター 学校給食センター 学校給食センター		ボイラ車自転車	ラー室 庫 車置場	1984 1984 1984	36 36 36	RC S	1 1	45. 4 72 40. 8
112-2 112-3 112-4 112-5 112-6	시 기 시 기 시 기 시 기 시 기 시 기 시 기 시 기 시 기 시 기	学校給食センター		ボイラ 車 自転車 生ゴミ処	ラー室 庫 車置場	1984 1984	36 36	RC S	1	45. 4 72 40. 8 86. 36
112-2 112-3 112-4 112-5 112-6 社去の整備改修状	전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전	学校給食センター 学校給食センター 学校給食センター		ボイラ 車 自転車 生ゴミ処 学校給食センター	ラー室 庫 車置場	1984 1984 1984	36 36 36	RC S	1 1	45.4 72 40.8 86.36 単位:円
112-2 112-3 112-4 112-5 112-6 は去の整備改修状 年度	4 4 4 4 工事名称	学校給食センター 学校給食センター 学校給食センター 学校給食センター		ボイラ 車 自転車 生ゴミ処 学校給食センター 工事概要	ラー室 庫 車置場 理作業所	1984 1984 1984 1996	36 36 36 24	RC S S S	1 1	45.4 72 40.8 86.36 単位:円 請負金額
112-2 112-3 112-4 112-5 112-6 動去の整備改修状 年度 1983	名 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名	学校給食センター 学校給食センター 学校給食センター 学校給食センター	小規模工事は除く	ボイラ 車 自転車 生ゴミ処 学校給食センター 工事概要 建設工事 RC2	ラー室 庫 車置場 理作業所 2 F (一部S平屋)	1984 1984 1984 1996	36 36 36 24	RC S S S	1 1	45.4 72 40.8 86.36 単位:円 請負金額 613.000,(
112-2 112-3 112-4 112-5 112-6 法の整備改修状 年度 1983	4 4 4 4 工事名称	学校給食センター 学校給食センター 学校給食センター 学校給食センター 工事 給排水衛生設備	小規模工事は除く	ボイラ 車 自転車 生ゴミ処 学校給食センター 工事概要 建設工事 RC2	ラー室 庫 車置場 理作業所	1984 1984 1984 1996	36 36 36 24	RC S S S	1 1	45.4 72 40.8 86.36 単位:円 請負金額 613,000,(50,000,0
112-2 112-3 112-4 112-5 112-6 社去の整備改修状 年度 1983 1983	名 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	学校給食センター 学校給食センター 学校給食センター 学校給食センター 学校給食センター *工事 給排水衛生設備 ま 17-入替工事	小規模工事は除く	ボイラ 車 自転車 生ゴミ処 学校給食センター 工事概要 建設工事 RC2	ラー室 庫 車置場 理作業所 2 F (一部S平屋)	1984 1984 1984 1996	36 36 36 24	RC S S S	1 1	45. 4 72 40. 8 86. 36 単位:円 請負金額 613. 000, 50, 000, 19, 776,
112-2 112-3 112-4 112-5 112-6 1去の整備改修状 年度 1983 1983 1993 1994 1995	表 工事名称 市立給食セクー建設 市立学校給食セクー 市立学校給食セクー 市立学校給食セクー 市立学校給食セクー 立修	学校給食センター 学校給食センター 学校給食センター 学校給食センター 工事 給排水衛生設備 ポイラス替工事 屋根他改修工事 で工事	小規模工事は除く	ボイラ 車 自転車 生ゴミ処 学校給食センター 工事概要 建設工事 RC2 給水設備(含、仮	7一室 庫 車置場 理作業所 2 F (一部S平屋) 設給水設備工事)	1984 1984 1984 1996 a=2096, 082㎡ 排気通気設備	36 36 36 24 A=2467,898mi	RC S S S	1 1	45. 4 72 40. 8 86. 36 単位:円 請負金額 613,000,(50,000,(19,776,(18,849,(24,514,(
112-2 112-3 112-4 112-5 112-6 動去の整備改修状 年度 1983 1983 1993 1994 1995 2004	現 工事名称 市立計算を対象を 市立学校給食とター 市立学校給食とター 市立学校会会とター 市立対策を を が 高を で の で の の の の の の の の の の の の の の の の	学校給食センター とないる。 とは、「一、「一、」 とは、「一、」 とは、「一、」 とは、「一、」 には、「 には、「 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	小規模工事は除く	ボイラ 車 自転車 生ゴミ処 学校給食センター 工事概要 建設工事 RC2 給水設備(含、仮	ラー室 庫 車置場 理作業所 2 F (一部S平屋) 設給水設備工事)	1984 1984 1984 1996 1996 a=2096.082㎡ 排気通気設備	36 36 36 24 A=2467,898mi	RC S S S	1 1	45. 4 72 40. 8 86. 36 単位:円 請負金額 613. 000,(50, 000,(19, 776,(18, 849,(24, 514,(432, 075,(
112-2 112-3 112-4 112-5 112-6 重去の整備改修状 年度 1983 1983 1983 1993 1994 1995	表 工事名称 市立給食セクー建設 市立学校給食セクー 市立学校給食セクー 市立学校給食セクー 市立学校給食セクー 立修	学校給食センター とないる。 とは、「一、「一、」 とは、「一、」 とは、「一、」 とは、「一、」 には、「 には、「 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	小規模工事は除く	ボイラ 車 自転車 生ゴミ処 学校給食センター 工事概要 建設工事 RC2 給水設備(含、仮	7一室 庫 車置場 理作業所 2 F (一部S平屋) 設給水設備工事)	1984 1984 1984 1996 1996 a=2096.082㎡ 排気通気設備	36 36 36 24 A=2467,898mi	RC S S S	1 1	45. 4 72 40. 8 86. 36 单位:円 請負金額 613. 000, 50. 000, 19. 776, 18. 849, 24. 514,
112-2 112-3 112-4 112-5 112-6 基去の整備改修状 年度 1983 1983 1993 1994 1995 2004	現 工事名称 市立計算を対象を 市立学校給食とター 市立学校給食とター 市立学校会会とター 市立対策を を が 高を で の で の の の の の の の の の の の の の の の の	学校給食センター とないる。 とは、「一、「一、」 とは、「一、」 とは、「一、」 とは、「一、」 には、「 には、「 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	小規模工事は除く	ボイラ 車 自転車 生ゴミ処 学校給食センター 工事概要 建設工事 RC2 給水設備(含、仮	ラー室 庫 車置場 理作業所 2 F (一部S平屋) 設給水設備工事)	1984 1984 1984 1996 1996 a=2096.082㎡ 排気通気設備	36 36 36 24 A=2467,898mi	RC S S S	1 1	45.4 72 40.8 86.36 単位:円 請負金額 613,000, 50,000, 19,776, 18,849, 24,514, 432,075,
112-2 112-3 112-4 112-5 112-6 基去の整備改修状 年度 1983 1983 1993 1994 1995 2004	現 工事名称 市立計算を対象を 市立学校給食とター 市立学校給食とター 市立学校会会とター 市立対策を を が 高を で の で の の の の の の の の の の の の の の の の	学校給食センター とないる。 とは、「一、「一、」 とは、「一、」 とは、「一、」 とは、「一、」 には、「 には、「 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	小規模工事は除く	ボイラ 車 自転車 生ゴミ処 学校給食センター 工事概要 建設工事 RC2 給水設備(含、仮	ラー室 庫 車置場 理作業所 2 F (一部S平屋) 設給水設備工事)	1984 1984 1984 1996 1996 a=2096.082㎡ 排気通気設備	36 36 36 24 A=2467,898mi	RC S S S	1 1	45.4 72 40.8 86.36 単位:円 請負金額 613,000, 50,000, 19,776, 18,849, 24,514, 432,075,
112-2 112-3 112-4 112-5 112-6 基去の整備改修状 年度 1983 1983 1993 1994 1995 2004	現 工事名称 市立計算を対象を 市立学校給食とター 市立学校給食とター 市立学校会会とター 市立対策を を が 高を で の で の の の の の の の の の の の の の の の の	学校給食センター とないる。 とは、「一、「一、」 とは、「一、」 とは、「一、」 とは、「一、」 には、「 には、「 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	小規模工事は除く	ボイラ 車 自転車 生ゴミ処 学校給食センター 工事概要 建設工事 RC2 給水設備(含、仮	ラー室 庫 車置場 理作業所 2 F (一部S平屋) 設給水設備工事)	1984 1984 1984 1996 1996 a=2096.082㎡ 排気通気設備	36 36 36 24 A=2467,898mi	RC S S S	1 1	45.4 72 40.8 86.36 単位:円 請負金額 613,000, 50,000, 19,776, 18,849, 24,514, 432,075,
112-2 112-3 112-4 112-5 112-6 独大の整備改修状 年度 1983 1983 1993 1994 1995 2004	現 工事名称 市立計算を対象を 市立学校給食とター 市立学校給食とター 市立学校会会とター 市立対策を を が 高を で の で の の の の の の の の の の の の の の の の	学校給食センター とないる。 とは、「一、「一、」 とは、「一、」 とは、「一、」 とは、「一、」 には、「 には、「 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	小規模工事は除く	ボイラ 車 自転車 生ゴミ処 学校給食センター 工事概要 建設工事 RC2 給水設備(含、仮	ラー室 庫 車置場 理作業所 2 F (一部S平屋) 設給水設備工事)	1984 1984 1984 1996 1996 a=2096.082㎡ 排気通気設備	36 36 36 24 A=2467,898mi	RC S S S	1 1	45.4 72 40.8 86.36 単位:円 請負金額 613,000, 50,000, 19,776, 18,849, 24,514, 432,075,
112-2 112-3 112-4 112-5 112-6 基去の整備改修状 年度 1983 1983 1993 1994 1995 2004	現 工事名称 市立計算を対象を 市立学校給食とター 市立学校給食とター 市立学校会会とター 市立対策を を が 高を で の で の の の の の の の の の の の の の の の の	学校給食センター とないる。 とは、「一、「一、」 とは、「一、」 とは、「一、」 とは、「一、」 には、「 には、「 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	小規模工事は除く	ボイラ 車 自転車 生ゴミ処 学校給食センター 工事概要 建設工事 RC2 給水設備(含、仮	ラー室 庫 車置場 理作業所 2 F (一部S平屋) 設給水設備工事)	1984 1984 1984 1996 1996 a=2096.082㎡ 排気通気設備	36 36 36 24 A=2467,898mi	RC S S S	1 1	45.4 72 40.8 86.36 単位:円 請負金額 613,000, 50,000, 19,776, 18,849, 24,514, 432,075,
112-2 112-3 112-4 112-5 112-6 1去の整備改修状 年度 1983 1983 1993 1994 1995 2004	現 工事名称 市立計算を対象を 市立学校給食とター 市立学校給食とター 市立学校会会とター 市立対策を を が 高を で の で の の の の の の の の の の の の の の の の	学校給食センター とないる。 とは、「一、「一、」 とは、「一、」 とは、「一、」 とは、「一、」 には、「 には、「 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	小規模工事は除く	ボイラ 車 自転車 生ゴミ処 学校給食センター 工事概要 建設工事 RC2 給水設備(含、仮	ラー室 庫 車置場 理作業所 2 F (一部S平屋) 設給水設備工事)	1984 1984 1984 1996 1996 a=2096.082㎡ 排気通気設備	36 36 36 24 A=2467,898mi	RC S S S	1 1	45.4 72 40.8 86.36 単位:円 請負金額 613,000, 50,000, 19,776, 18,849, 24,514, 432,075,
112-2 112-3 112-4 112-5 112-6 法の整備改修状 年度 1983 1983 1993 1994 1995 2004	現 工事名称 市立計算を対象を 市立学校給食とター 市立学校給食とター 市立学校会会とター 市立対策を を が 高を で の で の の の の の の の の の の の の の の の の	学校給食センター とないる。 とは、「一、「一、」 とは、「一、」 とは、「一、」 とは、「一、」 には、「 には、「 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	小規模工事は除く	ボイラ 車 自転車 生ゴミ処 学校給食センター 工事概要 建設工事 RC2 給水設備(含、仮	ラー室 庫 車置場 理作業所 2 F (一部S平屋) 設給水設備工事)	1984 1984 1984 1996 1996 a=2096.082㎡ 排気通気設備	36 36 36 24 A=2467,898mi	RC S S S	1 1	45. 4 72 40. 8 86. 36 単位:円 請負金額 613. 000, 50, 000, 19, 776, 18, 849, 24, 514, 432, 075, 14, 432, 075, 18, 845, 14, 432, 075, 14, 432, 14, 452, 14, 452, 14, 452, 144, 144, 144, 144, 144, 144, 144, 14

・今後の施設維持管理取組み方針

- 建設後35年以上を経過し、経年劣化している部分がありますが、早急に大規模な改修を行う必要はないため、今後も継続して適切な維持管理に取り組み、毎年の維持費の削減に努め
- ・y。 今後10 年間に必要な改修更新費用は、平均を下回ると試算していますが、厨房機器の更新を考慮すると上回ることが予想されることから、更新の時期や費用について、検討を行い
- ます。
 ・学校給食法では、学校の設置者が給食センターの設置者とされており、市が設置者である以上は運営に関与する必要があります。調理、配送等は民間に業務委託していますが、施設 の維持管理に関しては、民間に任せることは法的には可能と思われるものの、当面は市が主体となって運営します。

・今後の施設維持管理の具体的な取組み内容

- ・施設の適切な維持管理の実施により、現状を維持します。 ・今後も維持していく場合は、多大な改修更新費を費やすこととなるため、施設を有効に活用する方法を検討する必要があります。併せて、少子化の影響から、センターの配膳可能数 を下回る配膳量となるため、その能力を他に活用できないか、他市の取り組みを参考に令和7年度までに具体的にどのような活用方法があるか検討していきます。

・計画を進める上での利用者等への説明や意向把握について

- ・老朽改修や調理機器の更新の際には、小中学校への広報に努めます。・学校給食以外への活用を検討していく場合は、その必要性などについて理解を求めるため、説明を行い、手順や内容などについても広く説明していきます。

・対策の優先順位の考え方

・施設の厨房機器や蒸気ポイラーが更新時期を迎え、また、施設も経年劣化が激しいため、修繕が必要なものが出てきていますが、運営に係る重要度を検討し、優先順位をつけ、毎年 の必要予算に突出したものが無いように平準化を図り、対応していきます。

・計画を進める上での課題と解消への取組み

課題解消への方法

- ・厨房機器の更新や施設の修繕に今後多額の費用が必要と考えられ、計画を進める上 で、この費用の捻出が大きな課題です。
- ・厨房機器の更新や修繕を計画的に実施し、多大な費用を要する場合は、複数年度に分散するなど毎年の予算の平準化を図ります。

総計

・施設の有効活用、施設利用の適正化、有料化への取組みや施設の廃止、複合化等に対する取組み

・施設管理に関し、複数年契約のほか包括管理による経費の削減が可能かなどについて検討します。

	今後の改修時期と維持	更新費推計(長寿	命化考慮)		学校給食センター				
施設固有ID	棟名称	更新・改修	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	Ĭ	
ル政国有ID	体石砂	史制 · 以修	2021	2022	2023	2024	2025	維持保全時期と内容	
		建物更新							
		部位別更新				97,735,000		設備等の耐用年数から取替え検討が必要	
112-1	本館	建物全体改修							
		部位別改修				3,466,000		設備等の耐用年数から改修の検討が必要	
		臨時的改修							
		建物更新							
	未始 /	部位別更新 建物全体改修 部位別改修 臨時的改修							
112-2	本館(機械室増 築)	建物全体改修							
	<i>J</i> (7)	部位別改修				54,000		設備等の耐用年数から改修の検討が必要	
		建物更新							
		部位別更新				429,500		設備等の耐用年数から取替え検討が必要	
112-3	ボイラー室	建物全体改修							
		部位別改修				33,000		設備等の耐用年数から改修の検討が必要	
		臨時的改修							
		建物更新							
		部位別更新建物全体改修							
112-4	車庫	建物全体改修							
		部位別改修							
		臨時的改修							
		建物更新 部位別更新 建物全体改修							
110.5	4 + + m 18	部位別更新							
112-5	自転車置場	建物全体改修部位别改修							
		臨時的改修							
		建物更新							
112-6	4 > bn TH 16-44-37	部位別更新			19,587,000			建物の耐用年数から、建物全体改修の検討が必	
114-0	生ゴミ処理作業所	建物全体改修			19,587,000			走物の町用牛奴から、建物主件以修の快割が火	
		部位別改修 臨時的改修							